



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社ルック 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL http://www.look-inc.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高山 英二 TEL 03-3794-9148
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	11,235	2.8	572	235.8	544	196.5	453	-
28年12月期第1四半期	10,926	△12.5	170	△29.1	183	△34.8	30	△80.9

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 707百万円 (-%) 28年12月期第1四半期 △512百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	11.87	-
28年12月期第1四半期	0.80	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	29,743	20,321	67.2
28年12月期	28,935	19,805	67.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 19,973百万円 28年12月期 19,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	△0.9	0	-	0	-	△100	-	△2.62
通期	43,500	2.1	900	8.8	1,000	3.7	700	172.4	18.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	38,237,067株	28年12月期	38,237,067株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	65,734株	28年12月期	65,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	38,171,713株	28年12月期1Q	38,173,493株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に消費マインドに持ち直しの動きがみられる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済は、米国新政権の政策運営や英国のEU離脱問題等による世界経済を取り巻く不確実性はあるものの、緩やかな回復基調が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、百貨店などで訪日外国人による免税需要に回復傾向はみられるものの、衣料品に関する消費者の節約志向は依然として強く、総じて厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、百貨店やファッションビルへのブランド拡販策を推し進めるなど、既存事業の収益向上に向けて経営資源を効果的に投資してまいりました。また、平成28年4月より連結子会社となりました株式会社デンハム・ジャパンの売上が加わったことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。更には、昨年実施いたしました不採算事業の撤退など事業の選択と集中に取り組んだ結果、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は112億3千5百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は5億7千2百万円（前年同期比235.8%増）、経常利益は5億4千4百万円（前年同期比196.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千3百万円（前年同期は3千万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、当社が展開する百貨店を主販路としたオリジナルブランド「キース」や直営店を中心に展開する「イル ビゾンテ」、「マリメッコ」に加え、連結子会社であるA.P.C. Japan株式会社が展開する

「A.P.C.」の新規出店政策を推進するなど、安定的収益基盤の確立に取り組んでまいりました。新規事業におきましては、3月より大人の女性に向けたオリジナル新ブランド「フィラージュ」の販売を開始いたしました。また、昨年4月に販売を開始した株式会社デンハム・ジャパンが展開するオランダのデニムブランド「デンハム」の売上が好調に推移した結果、「日本」の売上高は前年同期を上回りました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、74億3千2百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は4億2百万円（前年同期比273.7%増）となりました。

「韓国」につきましては、内政不安による消費マインド低下などを背景とした個人消費の低迷が続く中、株式会社アイディールックにおいて、フランスのインポートブランド「ベルニス」や「サンドロ」の既存店の売上が好調に推移したことに加え、新規出店を推し進めた結果、売上高が増加し、更には、運営の効率化を高めたことにより原価率が低減し、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は35億9千8百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は1億1千6百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

「その他海外」（香港・中国）につきましては、ルック（H.K.）Ltd.（香港）において、既存店の売上が好調に推移した結果、増収増益となりました。洛格（上海）商貿有限公司においては、平成28年7月より事業内容をEコマース事業に集約した結果、売上高は減少いたしました。営業利益は増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5千2百万円（前年同期比31.1%減）、営業利益は5百万円（前年同期比821.6%増）となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は110億8千3百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は5億2千4百万円（前年同期比375.1%増）となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、当社アパレル製品の売上高が減少したことにより生産高が前年同期を下回り、当第1四半期連結累計期間の売上高は8億5百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は8百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、当社グループの取扱高が減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億5百万円（前年同期比7.9%減）となりました。一方、昨年8月の物流拠点統合など経営の効率化に努めた結果、営業利益は3千1百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

（飲食事業）

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、当第1四半期連結累計期間の売上高は2千4百万円（前年同期比0.0%増）、営業損失は販売費及び一般管理費の低減により9百万円（前年同期は1千3百万円の営業損失）に縮小いたしました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金が8億2千3百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ8億7百万円増加し、297億4千3百万円となりました。

負債は、借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金が5億1千5百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億9千1百万円増加し、94億2千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が2億6千2百万円、為替レートの変動により為替換算調整勘定が2億3千6百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億1千6百万円増加し、203億2千1百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、67.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,703	5,526
受取手形及び売掛金	5,272	4,806
商品及び製品	7,809	8,119
仕掛品	403	336
原材料及び貯蔵品	335	300
繰延税金資産	937	1,015
その他	680	621
貸倒引当金	△53	△55
流動資産合計	20,088	20,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,068	1,099
土地	1,626	1,640
その他(純額)	964	1,078
有形固定資産合計	3,659	3,818
無形固定資産	621	577
投資その他の資産		
投資有価証券	2,773	2,799
敷金	1,641	1,716
その他	285	297
貸倒引当金	△134	△137
投資その他の資産合計	4,566	4,676
固定資産合計	8,847	9,072
資産合計	28,935	29,743

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,314	2,799
短期借入金	597	900
1年内返済予定の長期借入金	200	—
未払金	138	194
未払費用	1,550	1,435
未払法人税等	235	221
未払消費税等	136	244
返品調整引当金	47	53
賞与引当金	128	275
ポイント引当金	3	7
関係会社事業損失引当金	1	4
資産除去債務	60	53
その他	359	227
流動負債合計	6,774	6,417
固定負債		
長期借入金	1,000	1,600
繰延税金負債	234	234
退職給付に係る負債	503	542
役員退職慰労引当金	11	27
資産除去債務	203	208
その他	402	392
固定負債合計	2,355	3,004
負債合計	9,130	9,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,340	6,340
資本剰余金	1,631	1,631
利益剰余金	10,413	10,675
自己株式	△17	△17
株主資本合計	18,368	18,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,200	1,223
為替換算調整勘定	△117	118
その他の包括利益累計額合計	1,082	1,342
非支配株主持分	354	348
純資産合計	19,805	20,321
負債純資産合計	28,935	29,743

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年3月31日）
売上高	10,926	11,235
売上原価	5,803	5,599
売上総利益	5,123	5,636
販売費及び一般管理費	4,952	5,064
営業利益	170	572
営業外収益		
受取利息	1	3
為替差益	8	—
その他	35	39
営業外収益合計	45	43
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	—	41
固定資産除却損	22	10
その他	3	12
営業外費用合計	32	71
経常利益	183	544
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
減損損失	165	—
関係会社事業損失引当金繰入額	—	3
特別損失合計	165	3
税金等調整前四半期純利益	20	541
法人税等	△14	88
四半期純利益	34	453
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	30	453

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	34	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	24
為替換算調整勘定	△334	230
その他の包括利益合計	△546	254
四半期包括利益	△512	707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△499	713
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	7,318	3,373	76	10,768	98	34	24	10,926	—	10,926
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	1	—	10	845	296	—	1,152	△1,152	—
計	7,327	3,374	76	10,779	944	331	24	12,079	△1,152	10,926
セグメント利益 又は損失(△)	107	2	0	110	25	28	△13	150	20	170

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度より、非連結子会社であった㈱ファッションブルフーズ・インターナショナルを連結の範囲に含めたことにより、「飲食事業」を新たに報告セグメントに含めております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントにより作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル関連事業」の「日本」セグメントにおいて、当社大阪支店を移転する取締役会決議をしたことに伴い、当該支店の固定資産及び賃貸借契約に基づく原状回復費用の見積額について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては165百万円であります。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
7,476	3,373	34	42	10,926

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	7,421	3,593	52	11,068	106	37	24	11,235	—	11,235
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11	4	—	15	698	267	—	982	△982	—
計	7,432	3,598	52	11,083	805	305	24	12,218	△982	11,235
セグメント利益 又は損失 (△)	402	116	5	524	8	31	△9	554	17	572

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
7,589	3,593	39	13	11,235

(重要な後発事象)

該当事項はありません。